



2021年10月8日(金) たんぽぼ 地域道路清掃



## 障害者と共に

第 102 号

社会福祉法人  
キリスト者奉仕会  
大牟田市新勝立町3丁目5番地15  
**大牟田恵愛園**  
恵愛ワークセンター  
ハ 一 ツ  
た ん ぼ ぼ  
つ く し ん ぼ

クリスマスを前にして

法人チヤブレン 眞柄 光久

もう何十年も前のことになりましたが、同級生に目の不自由な女性がいました。ノートは点字タイプライターで取っていました。その音で、時々先生の声が聞き取りにくい時もありましたが、文句をいう人はだれもいませんでした。赤毛の盲導犬もだまつて横に座つていました。

その日は体育の時間でボウリングのクラスでした。「目の見えない彼女がボウリングするの、できるのかな」と、ちょっとと思いました。学校のボウリング場はそれほど大きくなく五レーンぐらいあつたかな、でも、本格的なものでした。

事務室からスタッフが出てくると、マジックボックスを開けるように、ボウリングレーンの左側の床を開けると、手すりを取り出し、すばやく取りつけたのです。びっくり。しばらくすると、彼女は、右手にボー



2021年10月30日(土) 恵愛ワークセンター一日帰り旅行  
於:福岡県青少年科学館

友達に両足にギブスをはめた女性がいます。職場が近かつたので、帰り道でよく会いました。ぼくは名前を呼び、「元気」と声をかけるだけのことでしたが、歩くことに全神経を集中している彼女には、時々ぼくの呼びかけは耳に入らないようでした。

家に帰つてSNSで彼女の投稿を読みました。『今日は雲一つない、真っ青な空でした。』『今日は、自分がへのごほうびにチョコパフェをごちそうしました。』なにげない彼女の日常のことがダイアモンドのようにちりばめられていました。

歩くことがあたりまえだと思つている人間が歩くことだけでも、どれほど大変なことかを彼女は分からせててくれた。日常のなにげないことでも喜ぶことができるんだよと教えてくれた彼女。

彼女から、知らないことは知つている人からたくさんのことを探ることができるんだよと学んだ。

知つていることよりも、知らないことの方が何十倍、いや、何万倍あるかも知れない、知つたつもりになつていてるだけなんだなあとつくづく思われる日。それがクリスマス。なぜ神さまはこの世にキリスト・イエスを遣わそうと思われたのか。

障がいのある人に  
とつての暮らしの場

理事長  
叶  
義文

先日テレビで、「ドキュメント精神」と示されています。その内容は、障害者権利条約では、「障害者が、他の者との平等に居住地を選択し、どこで誰と生活するかを選択する機会を有すること並びに特定の生活施設で生活する義務を負わないこと」とあります。さて、今日は「障がいのある人にとっての暮らしの場」について考えたいと思います。人が生きていく上で暮らしの場が重要であることは言うまでもありません。障がいのある人の暮らしの場といつても、一般住宅、公営住宅、一人暮らし、家族同居グループホーム、施設入所、病院等様々です。

早いもので今年も一二月、クリスマスの月となりました。今年も昨年同様、新型コロナ感染の影響により、利用者と職員を中心としたオンラインでのクリスマス礼拝となります。なかなか、皆が集まつての集会等が出来ません。多少落ち着いてはきているものの、今後のことを考えると、心配や不安の中を過ごしている方

るのか、考えさせられます。今年の三月、グループホームの在り方についての調査研究の報告書が提出されました。委員として、大学教授等七名、オブザーバーとして厚生労働省、事務局としてPWCコンサルティング株式会社により、わずか四回の会議で報告書は発表されました。我々はその内容を見て、驚きました。報告書によると、グループホームた。報告書によると、グループホーム

科病棟×新型コロナ」という衝擊的な番組が放映されました。ある精神病院でコロナ陽性者が出て、陰性の人たちがたくさんいる病棟全体を封鎖し、レッドゾーン（感染者エリア）にしたと言います。その病棟の患者さんが言われるには自分も感染してしまうのではないかと不安で逃げ出したかつたと言わっていました。そのような状況ですから、当然たくさんのが陽性者が出て、患者職員合わせて約二五〇人のクラスターが発生しましたということでした。また、別の精神病院では、陽性患者だけを数人集めて、大部屋に入れ、外から鍵をかけ、部屋にはポータブルトイレが置かれ、カーテン・仕切りもなく皆の前で用を足さなければならなかつたこと等が報道されました。コロナ禍の中、人としての尊厳やプライバシーが守られないという状況が明らかになりました。なぜ、このようなことが起こ

来るとは限りません。経済面、食事、地域とのつながり、孤立等仕組み作りも含めて多くの課題があると言えるでしょう。

の利用者数が入所施設より多くなり、十四万人を超える、費用額も増加してきたこと、経験のあまりない事業者の参入により質の低下が懸念されること、利用者の中には一人暮らしや家族・パートナー等との同居を希望する者がいること等の認識の下、グループホームを一類型とするとしています。一つは、「一般型グループホーム」で一定の障害支援区分以上の方（重度障がい者）を対象として特に利用期限は設けないが、もう一つの「自立生活移行支援型」は主に障害支援区分が低い方を対象とし、利用期間を設定するというものでした。

もちろん、一人暮らしを希望する人を支援していくことは重要です。しかし、障害支援区分が低いからといつて、一律に利用期限を設定するのは非常に乱暴な提案と言わざるを得ません。そもそも、障害支援区分が低いからといって、一人暮らしが出

最後に障がいのある人の暮らしの場を考える時、建物としての住まいだけではなく、生活全般を支える仕組みが必要です。生活費（所得保障）、介護体制、緊急時対応、相談体制等です。その上で、「どこで誰と暮らしたいか」。本人の意向を尊重し、一人一人がその人らしく安心して暮らしていけるよう取り組んでいきたいと思います。

ことが事業所や障がい当事者の意見を聞かず進められることに強く違和感を感じます。

さらに、グルーピングホームについては、定員規模を大規模化させるのではなく家庭的な環境として少人数化すること、居宅介護（ホームヘルパー）等が利用できるようになりますと、家賃補助については、所得保障が十分でない中、さらなる充実が必要だと考えています。

わたしたちの法人でも、入所施設からの地域移行、親御さんの高齢化、親亡き後の課題、自立支援（その人がその人らしく生きる支援）の観点から、グルーピングホームの充実に取り組んできました。現在、福祉ホームを含めて市内に八ヶ所四一名の入居者が、グルーピングホームで生活しておられます。入居者の重度高齢化への対応、人材確保等、利用者の地域生活を支えていく上で、さらなる充実が求めら

# つくしんぼ八ヶ所目のグループ いよいよスタート!!!

つくしんぼ 副施設長 富安 妙子

ホームとなるつくしんぼ亀谷の工事がいよいよ始まりました。工事に先立ち、九月二十八日(火)秋晴れの中、関係者のみで、鍛入れ式を無事に執り行うことができました。

この亀谷のグループホームは、小浜Ⅲに続き、重度の障がいのある方のグループホームを建設する為に数年間民間の補助事業に申請を行っていましたが、なかなか採択されず、今年度ようやく補助が決定し、念願かない、着工する運びとなりました。



2021年9月28日(火) 鍛入れ式

ホームとなるつくしんぼ亀谷の工事がいよいよ始まりました。工事に先立ち、九月二十八日(火)秋晴れの中、関係者のみで、鍛入れ式を無事に執り行うことができました。

おり、重度の障がいのある方の生活（入浴、食事、トイレ、体位交換等）全般の介助を行います。日中は、それぞれ福祉サービス事業所に通所される予定です。

今までの経験をもとに、今回のグループホームつくしんぼ亀谷も利用者の方の声を大事にしながら、安心した生活が送れるホーム作りを行っていきたいと思います。

## 法人虐待防止研修会 を終えて

大牟田恵愛園 総括責任者

福田 真由美

十月二十三日(土)に福岡県社会福祉士会の青柳壮悟さんを講師にお迎えし、約百二十名の職員が参加しました。この研修を実施するにあたり、日常における支援で悩んでいることや研修で学びたいこと等について職員に事前アンケートを行いました。すると、自分が発している言葉で利用者を傷つけてしまってはそれを小さなうちに摘み取ればそれを小さなうちに摘み取れるよう、オープンな話ができる関係や環境を作り虐待に繋がらないようにしていきたいと思っています。

全国で今も障がい者虐待や権利侵害が起きています。対岸の火事とせずに、自分たちの事業所にも起こり得る問題であるということから、そこで今年のテーマは、障害者施設等における虐待防止、それぞれが自分のこととして日常のかかわりを見つめ直すとし、ひとりひとりが研修に主体的に参加し、虐待、権利擁護について深く考え、明日から利用者と向き合う時に少しでも前向きになれるよう願い内容を企画しました。まず講義で虐待の類型とその内容を具体例で学び、その後のグループ討議では、事例を通して話し合いました。

重度の障がいのある方(特に車イスの方)のグループホームは、バリアフリーである事や入浴機器も充実させる必要があり、また、居室の広さも車イスで動きやすいようある程度の広さが必要とされます。また、夜間帯も常駐する職員の仮眠室等も整備します。今回の場所は、市内の中心部で商業施設も近くにあります、たんぽぽからも徒歩五分程度の場所です。

二〇二二年四月一日開所、定員五名を予定しています。各居室には、トイレ、ミニキッチン等を完備して



2021年10月23日(土) 法人虐待防止研修会

待の本質を考えました。同じ事例でも、虐待にあたる、あるいはあたらぬのではないか等その人の価値観によつて物事の捉え方が異なります。議論を深めていく中で日々の支援を振り返る機会となり、支援をする上で大切にしている考え方の確認ができたと思います。

## 大牟田恵愛園の 生活介護の一招一个

統括責任者  
福田真由美

**1** 働くことを希望する人が、必要な支援を受けながら「働く」グループ。  
**2** 高齢の方が主に利用されているのは、健康維持を大事に活動の組み立てをしている「スマイル」グループ。リハビリや嚥下体操を行い、身体機等を行っています。

生活介護事業活動型なないろには現  
在入所利用者五名、通所利用者十二名  
が利用されています。生活介護を利用  
される理由は様々ですが、なないろに  
来られる方の多くは①きちんとした身  
体介護を受けたい②余暇活動に参加し  
て毎日を充実させたい③何かの役にた  
ちたいということを言われます。

一つ目の身体介護については、ある  
日通所を始めてすぐの方で、他の施設  
と併用されている方がこんなことを言  
われました。「ここ恵愛園では私をみ  
んな人間として扱ってくれる」その言  
葉に衝撃を受けました。私たちは普通

なないろの生活介護を  
こうしていきたい

チャレンジというキーワードで自分がやりたいことや取り組みたいことを一緒に探していく支援をします。

めにはどうしたらいいか利用者の方にもアイデアをもらい毎日活動をしています。中にはなかなか自分のやりたいことが見つけられない、発することが難しい、そんな方もいらっしゃるのでその人の言葉、表情から読み取つて活動の提案をしています。また、なないろに所属されていてもやりがいとして作業をしたいと思われる方もあります。

メラを回す人、編集する人、ナレーショ  
ンを入れる人などそれぞれの得意分野  
や長所を活かした活動になればと考え  
ています。コロナ禍で活動は大きく制  
限されましたが、新たな取り組みを通  
じて、なないろに来てよかつた、預けて  
よかつた、そう思ってもらえる生活介  
護支援をこれからもなないろではチヤ  
レンジしていくたいと思います。

**1 働くことを希望する人が、必要な支  
供や、大牟田市、荒尾市、みやま市圏内の送迎サービスを行っています。日中の活動には三つのグループがあり、利用者がご自身のライフスタイルや思いに合わせ選択できる仕組みです。**

大牟田恵愛園の生活介護事業は、常に介護を必要とする利用者の方へ昼間の時間帯に入浴、排泄、食事の介護等を行うとともに生産活動や創作活動などで自己実現の支援を行っています。看護師による医療的な相談への対応や、理学療法士によるリハビリテーションも受けることができます。また、恵愛園

## 大牟田恵愛園の 生活介護の一招一个

大羊田惠愛園

能の維持を大事にしています。また、季節に合わせたレクレーションなどを楽しみます。

に会話ををして、思いを聞いて、入浴介護護をしただけです。この支援に対し「本当にここに来てよかつた」と話され

少しでも工賃に繋がるよう、仕事を行う喜びややりがいに共感し、支援を行っていきたいと思います。

## 惠愛ワークセンター

### 就労継続支援事業の現状 「らそら」が今出来る事、

パン事業責任者 中村 留美

「らそら」の朝は早く、一番に出勤する職員は三時三十分、利用者の方は五時の仕事です。寒い日も暑い日も、雨の日もおいしいパンを届けるために頑張っています。早朝から焼いてもらつたパンを仕上げ、大半の利用者の方が通所して来られた一人一人に作業を振り分け支援する職員、そして移動販売の職員も、どんなに天候が悪くとも、自分は雨でずぶ濡れになりながらも、お客様が待つてある限り頑張つて販売に行っています。

そうやつてみんなで頑張つてきました「らそら」ですが、コロナの影響は大きく、昨年度までの売上の推移を見直してみて、この二年間の売り上げ減の数字にショックを受けました。移動販売先も四十ヶ所以上から自肃要請を受け、店舗を持たない「らそら」は販路を絶たれた形になりました。

だからと言つて、ただ落ち込んでばかりもいられないということです。今だから今しかできないことを考えよう」という提案を行いました。

移動販売の方からは、顧客リストの作成。製造からは、商品の質の向上。そして、利用者のスキルアップ。いずれも「やらないといけない」と分かっていても忙しい日々でなかなか取り組めずになりました。

会議の中で、繰り返し話し合い、「らそら」の将来像についても考える機会を持つことができているのはプラスになつたと思つています。

また、セルフセンター福岡を通じて「大木町産あまおう苺」を使つたお菓子づくりに挑戦する機会をいただき、それが成功すれば今までと違つた販路の開拓もできるということで、試行錯誤しながら取り組んでいます。

十月になり、少しづつお客様も戻つてきましたように感じていますが、まだまだ通常とは程遠い現状が続いているます。責任者として今しかできない事をしつかりやりつつ、いついています。責任者として今しかで

の「らそら」のパンを提供できるような体制作りと、みんなの気持ちをしてきていただけにかなりの痛手です。

だからと言って、ただ落ち込んでばかりもいられないということです。今だから今しかできないことを考えよう」という提案を行いました。

「らそら」の利用者さんはほとんどが、開始当初から携わっている方が詳しく述べます。

### パンで働いている 利用者さんの声

#### 01 「らそら」でA型として 8年働かれているKさん

① 主に何の作業を担当されていますか？

「洗い物や、成形をしています」

② 賃金(工賃)は何に使いますか？

「好きな本やゲームを買うのに使っています」

③ 今後、恵愛ワークセンターでやつてみたいことはありますか？

「元々料理を作つたりが好きなので、調理の作業をやつてみたい」



### クリスマスセットのご案内

昨年好評だった、「らそら」のクリスマスセットを今年も販売します。

今年は、「タンブラーと焼き菓子のセット」と「クリスマスリースタオルハンカチと焼き菓子のセット」の2種類。

それぞれ数量限定です。ご予約はお早めに。

① 主に何の作業を担当されていますか？

「成形や、粉の計量、施設内での販売をしています」

② 賃金(工賃)は何に使いますか？

「遊びに行くときのお小遣いと、家にお金を入れる様にしています」

# ハーツ

## 様々な病気と障がいのある方と関わらせて頂く中で

相談支援専門員 東 侑希

障害者生活支援センターハーツは、様々な悩みや不安なことがある方が、来所や電話での相談や、自宅へ訪問し話を伺っています。その中で、身体障がい、知的障がい、精神障がいの方など様々な障がい種別の方と関わらせて頂いています。今回、十月二十四日に福岡県精神保健福祉士会主催の研修で「精神障がい者支援の障がい特性と支援技法を学ぶ研修」を受講させて頂きました。近年、当事業所でも、精神障がいのある方と関わらせて頂く機会も増えています。全国的にも、精神科病院の外来を受診される方が、一九九九年は百七十万人程度でしたが、二〇一七年は三百八十九万人と約二・二倍に増加しています。疾患別においては、気分(感情)障がいが約一・八倍、ストレス関連障がいが約一・七倍と増加しています。尚、入院患者に関しては、年々、減少し

生活に向けた支援に取り組む地域移行支援や、地域生活を安心して過ごすため、病状の悪化を示すサインや兆候などを事前に把握し、定期的に面談などをを行い、再発のリスクを下げるような取り組みを行う、地域定着支援があります。尚、このようないいの場や就労など、様々な地域での院されてある方が退院へ向け、住まいの場や就労など、様々な地域での院されています。現在は一年以上の長期入院された方が退院へ向け、住まいの場や就労など、様々な地域での院されています。現在は一年以上の長期入

性が示されたのがきっかけだと思われます。現在は一年以上の長期入院された方が退院へ向け、住まいの場や就労など、様々な地域での院されています。現在は一年以上の長期入

てています。減少傾向に至った経緯としては、「入院医療中心から地域生活中心へ」と国が掲げ、精神障がい者に対する保健医療・福祉に携わる全ての関係者が目指すべき方向

性が示されたのがきっかけだと思われます。現在は一年以上の長期入院された方が退院へ向け、住まいの場や就労など、様々な地域での院されています。現在は一年以上の長期入

# つくしんぼ

事務 岩永 湖

私は今年の四月に恵愛ワークセンターからつくしんぼに異動してきました。就労施設でのパート事務からグループホーム事業での事務をすることになり、楽しみと同時に不安もありました。

経理事務の仕事はまだ出来ることは少ないので、業務の一環としてホームの夕食作りやお風呂の支援を行っています。初めは介

助時の力加減や衣服の脱着等も手間取っていましたが今は少し慣れて、話しこそしながら楽しく出来るようになります。食事のメニューは決まっているのですが、一品は自分で考えて作る事になつております。毎回、冷蔵庫とにらめっこしています。しかし、そうして作った料理を「おいしかった!」と言つてもらえる事もあります。

つくしんぼに来て半年経ちましたが、まだお会いした事のない方がたくさんいらっしゃるので、つくしんぼが企画した行事でお会い出来たらいいなと、今から楽しみにしています。



つくしんぼ小浜Ⅲ 入居者の方の生活です!

方だつたり、「次いつ来る? 気を付けて帰つてね」など優しい言葉をかけて頂き、いつも癒されています。

新型コロナの感染拡大により緊急事態宣言が繰り返し出され、「樂しみもなーんもない」と言われているのを何度も聞きました。今は少し落ち着き新規感染者が減つて来ているので、利用者さんと楽しめるよ

うなイベントを開催できないか、提案したいと思っています。

つくしんぼに来て半年経ちましたが、まだお会いした事のない方がたくさんいらっしゃるので、つくしんぼが企画した行事でお会い出来たらいいなと、今から楽しみにしています。

これまで最高五千元だった調剤手当を最大四万円(利用状況等に応じて)まで増額しました。これまで「一般就労はした  
いが収入がないのは困る」といったニーズが聞かれ、利用を断念された方々もいらつしやいましたが、そういった方が少しでも就労移行を利用し、一般就労するという希望を叶えら  
れるようになればと思います。

## 就労移行本体の訓練内容紹介

就労移行支援副責任者

めぐみ

(情報誌等の封入・発送作業)③市内公衆トイレ清掃作業を中心に訓練を行っています。実際の企業でおこなわれている仕事に関わることで、仕事をする上でのルールや注意事項に気を付けながら作業に取り組む姿勢が伺え、作業能力の向上に繋がっています。様々な作業をおこなうことで利用者それぞれの強みを知ることができ、またご本人さんの強みや、その方の力を活かせる職種等をより正確にアセスメントできるようになつたと思います。また訓練手当を支給する際、作業評価によつて支給額を決める仕組みも、利用者の皆さんのもチベーションアップに繋がつているように思います。たんぽぽでは作業能力だけなく、その方自身の主体性や協調性なども含めて評価を行い、その評価結果に応じて訓練手当の支給額を決定しています。利用者の方々がご自分の得意な部分を伸ばしたり、あるいは苦手だと思つていることにチャレンジしてみたりするきつかけになつていて、うに思います。

## 「働く・暮らす」利用者インタビュー

Vol.9

このコーナーは、現在、たんぽぽを利用されている方やたんぽぽを経て一般企業等へ就職された方の紹介を行っています。今回、お二人の方へインタビューをおこない、お仕事の内容から、普段の生活、目標や夢などお尋ねしています。

木原 茂さん

所属:就労継続支援B型(弁当・レストラン部)

Q たんぽぽではどのような仕事をしていますか？

A 弁当作りです。特に洗い物。

Q 仕事をしていて大変なことや楽しいことは何ですか？

**A** 洗い物ははじめの頃は楽しかったけど、今は大変です。

Q お休みの日はどんなことを  
しているときが楽しいですか？

**A** 一番は、自転車に乗る事です。次に買い物です。

○ 木原さんの特技はなんですか？

A カラオケ!!

### ○ これからの目標はありますか？

A お気に入りの自転車に乗り続ける事です。



石丸 敬介さん

所属:就労移行支援(元利用者)

Q 所属している会社名と  
仕事内容を教えてください。

**A** 株式会社サンオーシオで空き缶やペットボトル、屑鉄や不用品などのリサイクル選別作業を担当しています。

Q なぜこの仕事を  
選ばれたのですか？

**A** 自分はこれまで農業や洗車作業などの体力を必要とする仕事をしており、体力には自信がありました。この職場はそんな自分の長所を活かせる場所だと思っています。寒暖の差も激しい職場ですが、今のところ休みまず毎日仕事ができています。

Q 今後の目標などはありますか？

**A** 今働いている環境がとても自分にあってると思うので、ここで長く働きたいと思っています。いま自転車が壊れていますので次の給料がもらえたら、新しい自転車を買いたいと思っています。

支援者より

もともと仕事の経験がある石丸さん。少しコミュニケーションが苦手なところもありますが、仕事ぶりは真面目で他の人が嫌がるような仕事でも積極的に取り組まれる方でした。また家族を第一にする優しい性格で、家計を支えたいと強く就労を希望されていました。さまざまな場所で実習を行った結果、ご自身の長所でもある体力を活かした仕事がしたいと希望され、サンオーシ様にご就職されました。今後もご本人様のご希望でもある「長く働き続ける」ことをたんぽぽとしてしっかりと支えていきたいと思います。

二〇二一年八月一日  
二〇二一年十月十五日



※顔不同・敬称略

朝枝育美、浅見美知子、飯田クリニック、医療法人友永医院、植木善昭、エサキサウンドサービス、太田勝利、大西克子、大牟田防災工業(株)、大牟田めぐみ教会、角伸宏、加來徳子、叶義文、久保田君代、黒水斐子、古賀浩、社会保険労務士法人ほし事務所、鈴谷輝秋、セブンイレブン大牟田銀水店、田代英二、田中久子、田中晶矩、塚本二作、ナゴミグレースチャーチ、日野神明キリスト教会、溝田智恵子、宗広一美、森三希子、(有)三光産業、芳川勝、(株)山自動車、(株)西日本医療センター、(株)プロインテック、森るり、北園孝治、中村直人

## ご協力ありがとうございました

八尋俊子さま、  
藤木俊一さまより  
土地のご寄付  
賜りました

去る十月二十四日、八尋俊子さま、八尋哲郎さまご家族に来園頂き、大牟田市大字三池の土地をご寄付賜りました。長年、ご家族が過ごされてきた思い入れのある土地を、障がいのある人の住まいの場(グループホーム)として、大切に用いさせて頂きます。

改めて厚いご支援に心より感謝申し上げます。



### 恵愛友の会会員募集!!

「障害者福祉」の益々の充実を願いつつ、ともに歩み支えていただける会員を募集しております。

一般会員	一口	500円/月
特別会員	一口	1,000円/月
賛助会員	一口	300円/月
団体会員	一口	10,000円/月

※一人でも多くの人に会員になっていただきたいと願っております。どうぞよろしくお願い致します。

### 献金申込送金先 社会福祉法人 キリスト者奉仕会

〒836-0895  
福岡県大牟田市新勝立町3丁目5番地15  
大牟田恵愛園 0944-51-8750  
《銀行振込》 福岡銀行 大牟田支店  
普通 2512469  
《郵便振込》 郵便振替 01780-3-38380

※この献金は福祉事業活動のために活用させていただきます  
※郵便振込用紙を入れていますので、献金される方はご利用下さい。

オンライン

## クリスマス祝会

日時:2021年12月18日(土)

礼拝/10:00~ 茶話会/11:00~

場所:大牟田恵愛園・地域交流スペース(メイン会場)

内容:クリスマス礼拝・茶話会

<問い合わせ先> 大牟田恵愛園 TEL (0944) 51-8750

メッセンジャー

眞柄 光久 牧師

法人チャプレン  
大牟田フレンドシップキリスト教会

茶話会では、  
楽しいゲームが  
あります。

※今年度は、新型コロナウイルス感染防止の為、法人利用者、役職員の参加のみとさせていただきます。